

広聴特別委員会記録

令和元年 8 月 1 9 日

【開催日】 令和元年 8 月 1 9 日

【開催場所】 第 1 委員会室

【開会・散会時間】 午後 1 時 3 0 分～午後 3 時

【出席委員】

委 員 長	長谷川 知司	副 委 員 長	宮 本 政 志
委 員	伊 場 勇	委 員	杉 本 保 喜
委 員	高 松 秀 樹	委 員	中 岡 英 二
委 員	中 村 博 行	委 員	藤 岡 修 美
委 員	松 尾 数 則	委 員	森 山 喜 久
委 員	吉 永 美 子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議 長	小 野 泰		
-----	-------	--	--

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

事 務 局 長	沼 口 宏	議 会 事 務 局 主 査	島 津 克 則
---------	-------	---------------	---------

【付議事項】

- 1 議会報告会について
- 2 市議会モニターの意見について
- 3 その他

午後 1 時 3 0 分 開会

長谷川知司委員長 ただいまから広聴特別委員会を開催します。付議事項につきましては、お手元の資料に沿っていきます。最初に議会報告会について、これは 8 月 5 日に議会報告会の反省会を各班でしましたので、その報告書が上がっています。これについて一つずつ見ていきたいと思いません。最初に A 班、質問事項として 2 枚目の真ん中に後日回答ということで、通学路のチェックについて 6 年前から自治会長の立会は不要とのことであるが、なぜなのかということがありました。それから次のページ

の右上、防潮扉の開閉について、台風時に閉めるのが遅いが、誰が閉めているのかということでした。最初の通学路のチェックですが、通学路の危険のチェックですね。これは教育委員会に確認したほうがいいかなと思いますので、総務で確認してもらおうということでもいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それから、防潮扉については産建で確認するというで。（「はい」と呼ぶ者あり）高泊はいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次に赤崎公民館。宿題は書いていないですが。（発言する者あり）手を挙げて発言してください。

吉永美子委員 風呂のメンテナンスができていないとありますが、これは中央福祉会館とっていいですか。

長谷川知司委員長 ちょっとそれが見えないですね。赤崎公民館にも福祉会館はありますからね。

吉永美子委員 A班、どちらのことですか。

長谷川知司委員長 そのグループにいたのは誰ですか。

松尾数則委員 私の考えでは、全ての福祉会館のお風呂のメンテナンスがという認識で捉えていたんですけどね。

中岡英二委員 私もそのように考えています。

杉本保喜委員 高千帆福祉会館にもお風呂があるんですけど、私も時々中をのぞくんですけど、ほとんど問題ないんですけどね。ボイラーがどうのこうのというトラブルも聞かないし。

長谷川知司委員長 メンテナンスというのは、例えば掃除が悪いとか、機器の不具合ではなくて、掃除とかのあれですかね。

杉本保喜委員 その辺がはっきりしないですよ。例えばボイラーの故障が再三あるとか、清掃が行き届いていないとか、更衣室の掃除が悪いとか、風呂の場合いろいろあると思うんですよ。全体的にメンテナンスができていないと漠然と言われると、担当に言ったとき、わしのところはいいよという話になる可能性があるわけですよ。ボイラーのトラブルについては、管理者もそうだけど、それを受ける側の行政のほうも、その辺

も聞かなければいけないという格好になるでしょう。

長谷川知司委員長 ボイラーとか、機器の不具合というのであれば、一般市民がそこまでは分からないはずなんですよね。ですから、このときに出た一般市民の方からいうと、メンテナンスが悪いというのは、使うのに掃除が行き届いていない。あるいは、不便だということではないかなと思うんですけどね。メンテナンスということに不便が入るかどうかは別として。

杉本保喜委員 漠然としているから、我々それぞれが、近いところの浴槽を持っている福祉会館に、現状どうなのかということを知りたいという感じがしないですかね。

高松秀樹委員 福祉会館の所管の委員会はどこですか。「民福」と呼ぶ者ありなら、民福の委員会の中で全ての福祉会館の状況を聞けば済むと思いますけど。

長谷川知司委員長 お風呂を使っていないところもあると思いますので、民生福祉をお願いします。

吉永美子委員 どういう意味で言われたのか。例えば、中央福祉会館もお風呂が使えなくなったけど、それをきちんと修理して、使えるようにしたとか、いろんな動きがあったわけですよ。意図されることが分かるのであれば知りたかった。私はA班ではないので、それだけのことです。分かれば教えてください。

長谷川知司委員長 民福で聞かれるときは、メンテナンスについてもハード面、要するに機械とかボイラーとかについて、それからソフト面での清掃とかについてというふうに分けて問われるようにしたほうがいいと思います。それで、具体的には水津さんが確認しているんですかね。記録は水津さんですから、水津さんに確認していただくと助かります。ほかには赤崎はいいですか。

吉永美子委員 産業建設のところ意見となっていますが、これは質疑ではなかったですかね。「禁止となっている。なぜか」と。「侵入ができなくて困っている」という意見だったらあれだけど、「なぜ、駐車禁止なの」ということだったら、これは答えが要るんじゃないですか。駐車禁止とな

っている理由は何なのかということを知りたいんではないですか。

長谷川知司委員長 これも回答をしたほうが親切ですね。

吉永美子委員 未回答に入れたほうがよくないですかね。意見ではなくて。

長谷川知司委員長 未回答というのは、未回答の質問事項ということですか。

吉永美子委員 違いますかね。私はそう思ったんですけど、皆さんどう思われるのか。駐車禁止としている理由ですね。

長谷川知司委員長 これも一緒に産建のほうで聞いてもらえますか。

杉本保喜委員 浜五挺唐樋周辺に駐車場がないと書いてあるんですけど、あるんです。神社の裏側、西側のほうに10台は止められる駐車場があるんですよ。この方はそれを知らずに、東側から来たとした場合にはないなと思っちゃうんですよ。標識を入れるか何かする必要があると思いますね。

長谷川知司委員長 これは産建のほうでこういう意見があったということ、これは産建ですか。あそこは文化財でしょう。総務ですね。総務から教育委員会のほうへ伝えてもらうようにしましょう。ほかはありますか。次に津布田会館です。よろしいですか。次、出合公民館。出合の最後のところで、「国道190号の宇部市から労災病院までは四車線化されたが、その先の改修予定など、今後の計画を知りたい」とあります。これは前回も同じように宿題があって、これについては予定がないというように回答していますので、これは予定なしと、予定は決まっていないということですね。これは後日回答となっていますが、予定はないということに貼っておかなくてははいけません。次、有帆公民館。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次、中央図書館。宿題はないですね。このたびは報告事項が2件ということで、その2件に対して、質問が集中してあったと思います。それについては議会も、今後注視していくということが大事だと思いますので、その姿勢でいかないといけないと思います。次、議会報告会アンケート結果ということで、参加人数65名で、回収が61名です。議員から誘われたが36名、議会報告会は3回以上という方が30名ということです。ほとんどの方が車とかで来ていらっしゃるね。5番にありますように、今回のような報告会に参加したいと

思いますかという方が結構多いんです。多いですけど、次に来るかという
と、この方が皆来てということではない。良かったということで、た
またま空いていて、機会があったら行きたいということで、はなえて行
きたいというところまではいっていないという気がしますね。それから、
年齢別に見ても、確かに若い人は忙しくて来られないのかなと思います
が、ちょっと少ないなと思います。では、自由記述欄にいきましょう。
皆さん意見はありますか。

杉本保喜委員 要望、その他のことについて、9番目の「ごみを決まった日に
取りに来てほしい」というのは、どこの会場でこの意見が出たんですか
ね。

中村博行委員 これは津布田会館です。以前からおっしゃっている方なんです
よ。とにかく旧山陽側と旧小野田市側のごみの収集日が一緒ではない。
以前から言われて、行政のほうにも言われて、直接市長にも言われたん
です。この人の考え方は、一つの市だから全部一緒にせいという考え方
なんですよ。それに対して、なかなか難しいという条件も、なかなか
理解してもらえないという点がありましたね。市長にも出されて、山陽
側の山陽清掃社の事情があるということで、回答されたんですけど、こ
の質問者は、市長よりも業者のほうの権力が強いのか、そのぐらいのこ
とも言われたので、なかなかその辺は難しい問題かなと思いますね。ご
みの問題は毎回津布田では言われます。

長谷川知司委員長 よろしいですか。議会報告会の資料は終わります。

高松秀樹委員 参加人数の件なんですが、今回65名ですよ。前回とか前々
回、その前はどのぐらいの人数だったんですかね。

長谷川知司委員長 前回は96名、前々回116名、今回65名です。段々下
がってきています。

高松秀樹委員 段々下がってきていますよね。次はまだ下がるんじゃないかと
思っているんですけど、まず、この委員会で議員一人3人連れて来よう
という話を機関決定したと思います。今回の状況はどうだったんですか。

長谷川知司委員長 今回の状況で3人以上というのが5名です。ただ、書かれ
ていない方もいらっしゃいますので、書かれた方は5名です。

高松秀樹委員 決めたことなので、しっかり取り組んでいく必要があると思います。委員長の手元に一覧表があると思いますので、その一覧表を委員会に出してもらいたいと思います。

長谷川知司委員長 隠す必要はないので、事務局、この委員会の中に出してもらえますか。議員名、ちょっとこれは。

島津議会事務局主査 ABCというような形でお出しするということでしょうか。

長谷川知司委員長 それでお願いします。

高松秀樹委員 何で議員名を出せないの。皆さん職責の中で集めているんじゃないの。

長谷川知司委員長 皆さんに諮りましょう。私の手元には各議員の名前と各議員が何名、それもどこの会場で何名というように結果が書いてあるものがあります。これを出すことはやぶさかではないんですが、これを出すということ自体は、各議員の名前まで全部出てしまいます。資料になりますので一般以外にもオープンになるわけです。前は議会内で、議員の中での資料ということで配ったんです。

中村博行委員 今回、書かなくてもいいというような形で参加者に言っているわけですよ。それで果たして、出してもらってもどうなのかなという気がしますね。

長谷川知司委員長 2名以上書かれた方もいらっしゃいますし、書かれていないという人はどういうふうに考えるかというのがあって、この数字だけが一人歩きするというのが私は怖いなという気がしています。

高松秀樹委員 現実、3桁から前回96名、今回65名と減ってきたわけですよ。これを見ると、いろんな理由を付けて段々減っていくんじゃないかという危機感があります。私が言うのは、広聴委員会の中で3名以上連れてくるようにというふうに決定したと理解していますので、決定事項については公表すべき。もちろん、中村委員の言われるように、全ての参加した皆さんが議員名を書いているとは限らない。これを承知の上で、

それは公表すべきだというふうに思います。

長谷川知司委員長　ほかの委員は公表ということに異議はありますか。委員長という立場から言えば、数字が一人歩きするのが怖いから、個人名はのけて、ABCという符号で出すということでこの場はいきたいんですが、それでどうですか。

松尾数則委員　数字が一人歩きするというのはどういう意味なのか。

長谷川知司委員長　ここを出せば、それが資料として全部一般の人にも出ていくわけなんです。そういうことで私は言ったんです。私が危惧するのは、例えば、書いていない人のことは全然分らんわけですね。この数字が出て、ゼロだった人は全然動員していないじゃないかというような見方をされる場合があるんですけど、私から見れば、その人も動員されて、ただ、自分の名前を書くようには言っていない人がいらっしゃるというのは理解しています。議会として3名以上動員というのはきちんとされているんですが、数字としてそれが出ていないということで、そういうのが分らんわけですね。これを出せば、それを見て、それだけかということですから。

高松秀樹委員　3名以上動員をされていないのは、この数字からは明らかだと思います。前々回の約半分になっています。つまり、皆さん連れて来られないことが今回はあった。私は3名以上と言いますが、毎回3名以上と思っていますが、もちろん、今回は自分の担当区域から外れたので集められなかったとかあると思うんですが、3名と決めたのであれば、割り算して平均3名以上の市民の皆さんを誘うというのが当たり前だと思います。この65という数字が120という数字だったら、委員長の言われるとおり、そういうことかなと思いますけど、確実に減っていますので、そういう状況ではないというように思っています。委員長は誰がどうなのか御存じなんですけど、例えば、委員長又は副委員長、正副議長から、その議員に対して、ちゃんと集めてくださいよという話をされているのかなのか。されていないようであれば、次も恐らく減ってくる。結局、本末転倒になって、前議会のような形になるような気がして、それが非常に怖い。せっかく116名という数を集めたんですよ。そのときのアンケート結果も良かったじゃないですか。何でここに来て下がるのかなというのが非常に不安で、だから、名前も含めて公表すべきだというふうに僕は思っています。

松尾数則委員 埴生地域で議員の名前を書くのが非常に嫌がられたという噂があったのは聞いています。私も人を集めても、名前を書いてくれと言ったことは一回もないです。恐らくほとんどの人がそうじゃないかと思うんですよ。ただ、ある意味公表しておかないと、公表することである程度歯止めになると思います。これからも名前を書いてくれよということは言わなくていいと思うんです。その結果がこうなったというなら、それはそれでいいと思います。それで、お前ゼロだからいけなかったよということは基本的にはないと思います。私もゼロかもしれませんが、別にゼロだからどうと思うことは個人的にはないです。

中岡英二委員 総人数で前々回は116名、前は96名と数の推移を出されましたが、議会カフェに変わって、そういう推移を出してほしいですね。議員から誘われたというのが今回36名、その前はどうだったのか。数字を出して、その中で声は掛けたけど集まらなかった。なら、今回は頑張ろうと。私は議員名を出す、出さないもありますけど、その辺の推移を把握して、議員自身がもう一押ししないといけないなあとか、そういうのもあると思うんです。それともう一つ、やる場所も今までどおりの公民館とかとは別に、違うところも考えていいんじゃないかなと。そうして、そうしたことをやった結果どうだったかと。その辺の数字の推移は必要だと思います。

長谷川知司委員長 出すのは大事ということで、個人名まで入れて出すということですか。

中岡英二委員 自分では把握しておきたいというのはあります。今回は少なかったけれど、次は頑張ろうとか。自分自身は数字を把握しておきたい。公表する、しないは皆さんの総意でしょうね。

杉本保喜委員 今回に限って公表するというのも、今まで2回、それぞれ一人3名ずつということでやってきているわけですよ。このたびに至って、今回のことを公表するというのも、ちょっとおかしいなと思うんです。やるのであれば最初からそういうふうにするのであれば、皆納得すると思うんですよね。少なくとも広聴委員会ではそういうことで3名ずつ集めようよということで意思統一をしたんですけど、広報委員会にはそれがどこまで徹底されていたかなということなんですよね。2回目のときに河崎議員から、名前を入れるというのは非常に不都合だと。だから名

前を入れるのはやめてほしいという意見があって、私は名前をいちいち書かなくていいからねということも、今回の場合は特に言ってきたわけですよ。そういう人も、私だけではなくほかにもいるかもしれない。ということで、もし名前を公表するというようなことであれば、次回から、改めて広聴委員会から公表したいということで、広報委員会にも了解を得て始めたほうがいいんじゃないかなと思います。

長谷川知司委員長 1回目は議員にお配りしています。これは会議が終わってから、外に出さないようにということで、数字が一人歩きしてはいけないということで、1回目は出しています。2回目はいろんな意見があったので出していません。今日もありますけど、広報について3名以上ということは全員協議会で私が伝えています。広聴で話し合ったことは、全員協議会で広報にも伝えています。ただ、公表ということは伝えています。

高松秀樹委員 広報委員会の件は、広聴だから、広報だからという話ではなく、議会で決定した話なので、全く問題がないということ。もう一つは、今回だけというのであれば、前回、前々回全て公表したらいいと思います。次からというのはまるで意味がない話だと思いますので、公表されるということを前提に、全ての会を公表してほしいと思います。

宮本政志副委員長 この場で広聴委員会に掛け、場所の問題とか、あるいは今後の議会報告会で、このまま3名以上ずっと声を掛けていきたいと思います。ということを継続していくかとか、いろんな議論を踏まえて、話をしていったほうがいいと思うんですね。この場でこの表を広聴で配るか、配らないかは諮ったほうがいいんじゃないですかね。

長谷川知司委員長 個人名を出すということは一人歩きするのが怖いので、会議が終わったら出すということではいけませんか。連れて来ても名前を書いてない人も結構いるんですね。そういうことを知らないで、この数字だけを見て、ふんというような人もいるということで、それはちょっと事情が違うんじゃないかなと思うんですね。

吉永美子委員 現実に議員から誘われたという人数が減っているのは確かです。以前を見てみると、116名のときは73名が議員から誘われたとアンケートで答えています。前回の96名のときには67名、今回は65名の中で36名ということで、前回から半分に誘われたのが減っているの

は事実です。それを全議員が感じないといけないと思います。それは広聴の委員長として、73名が67名になって、これはまだキープできていたと思うんですけど、議員から誘われたと書いていないということは誘われていないということですから、議員名が出ているとか出ていないの問題じゃないでしょう。それを考えると、議員から誘われたというのが65名中64名ならいいんですよ。別に公表だ、公表しないだという問題ではなくて、私が言いたいのは、議員から誘われたという人数自体が減っている危機感を感じないといけないんじゃないか。それは共有すべきだと思います。どうしても公表ということであれば、3名以上連れてきた5名の名前だけというやり方もあります。いずれにしても、私は危機感を感じるべきだと思います。67名誘われていたのが、今回36名ですよ。これは誘っていないということじゃないですか。名前という以前の問題。そこは危機感を持つべき。議員連絡会なり、どこかで広聴特別委員長は言うべきだと思います。

伊場勇委員 危機感をどれだけ議会として、議員として持っているかというところが大事なんじゃないかというところと、なぜ3名なのかというところだと思うんですね。議会報告会は6会場で、全体でも100名は超したいんだということになれば、一人3人は呼んでいただかないと、その大台にはいかない。具体的な目標を決めることも必要じゃないかなと思います。12月議会の報告会と、今回の報告会のアンケート結果を見れば、増えているところは議員から誘われた部分なんですね。議員から誘われた部分が増えれば100名いくんですよ。市の広報とか、班回覧とか、知人から誘われた、ホームページ、その他は基本的に数は変わっていないんですね。数が変わるところは、今の体制上、議員から誘われたを増やすしかないという状況になっているんですね。その体制がどうなのかというのも議論が必要だと思いますけど、現状の課題を言えば、3人呼べば、基本的に100名を超えるだろうと。そのために3人呼んでくれというところの議員の周知をしなければいけない中で、誰が何人呼んだかを出す、出さないという話になっていますけど、それは別に出してもいいんじゃないかと思うんですね。なぜかという、3名呼んでいないということは議会で決めたことなので、それができなかったことは正直に恥ずかしかったことなんじゃないかなと思います。アンケートの中に名前を書かなくてもいいような雰囲気です。司会が進めているところも協議しなくてはいけないのかなと思います。前回、アンケートの作り方で、名前と紹介議員を書けば、この人は誰を応援しているのかが分かるのではないかというところも議論があったと思います。そちら

も精査して、例えば、アンケートに名前も住所も書かなくて、誰がというのではなくて、アンケート用紙も作り替えるのであれば、そこもクリアできるし、いいのかなと思います。話が二転三転しましたけど、危機感を持ってほしいということと、目標を立ててやっていくのがいいんじゃないでしょうか。

藤岡修美委員 議会報告会が全国的な議会で先すぼみになっているというのは現実だと思います。議員が動員を掛けるというのは議員活動の延長で、議会活動とはニュアンスが違ってくるのかな。最初の取組はいいんですが、いつまで議員が声を掛けないとできない議会報告会なのか。そこにも問題があり、参加する市民も固定してくるような気がします。そうじゃなくて、いつも言われていますが、議会報告会で決まったことを幾ら聞いてもという意見もあるし、人数が減ったというのは別の次元で反省するとして、議会報告会の在り方も検討すべきじゃないかなという気がするんです。多分、改選前に議会報告会の数が多いんじゃないかという大学の先生の意見の研修会を受けておられると思います。年間24回はあり得ないんじゃないかという講演会の記録を読んだんですけど、そこはそれ、やり方をもうちょっと、動員しなくても来るような議会報告会を踏まえて議論しないと、いつまでたっても議員が動員を掛けた、狭い範囲の報告会で終わってしまうような気持ちでいます。

吉永美子委員 B班の反省会をしたときに、広聴委員会に報告する事項があったんです。一人3人をきちんと徹底すること。参加者が少なくなった関係で3班体制はどうなのかということを考えるのも一つじゃないかということ。委員会で調査した事項をホームページに出すべきじゃないかということ。それからアンケートに市民の名前は必要かということ。それと議員の名前が必要かという意見が出ました。確かに私も市民の名前が必要かという話が出たときに思うのは思いました。これはその方に戻さなくてはいけないときじゃなかったですかね。本当に必要なのかということも議論してもらって、できれば書いてくれだから、書かなくてもいいんだけど、あれば書くという流れはできてしまうので、その辺を議論して決めていただければと思います。

長谷川知司委員長 ここで休憩します。副委員長と協議します。5分ほど休憩します。

午後 2 時 1 3 分 休憩

午後 2 時 2 0 分 再開

長谷川知司委員長 委員会を再開します。先ほどの集計結果で皆さんの動員したのをどのように出すかですけど、この場では個人名をのけてA B C Dとし、それを出します。個人名を知りたいのであれば、個人名を書いたものがありますので、見ていただくのは自由です。なぜそうするかというのは、これが議会以外に出たときの一人歩きを心配するので、そういうことです。

高松秀樹委員 一人歩きというのはどういう想像なんですか。選ばれた議員が議会の中で決まり事を作ってやっているわけですよ。それを公表して、何が一人歩きするのかよく分からない。

長谷川知司委員長 要するに、全員が議員の名前を書いている。要するに、誘われたけど議員の名前を書いていないというアンケート結果も結構あるわけなんですね。そういうことを皆さんが理解して、これを見られるならいいけど、そうではなくて、数字だけで、じゃあ、この議員は全然動員していないのかということが、実際は動員しているけど、名前を書かれていないというだけであって、そういうことが私は怖いと思うんです。

松尾数則委員 自分は3名以上動員したけど、一人も書いてくれなかった。ゼロだったということになると議員の資質が問われるということですか。そんなことはないと思うんですよ。お前の努力が足りなかったとか、そういうことを問われるから名前等は公表しないというふうに捉えられるんだけど、実際そんなことが関係あるのかなという気がします。

長谷川知司委員長 努力して、皆さん動員されておられます。でも、アンケートには無理して書かなくていいよとされている人が結構いるというのも私は聞いています。結果として、アンケートにどの議員に誘われたというのが空欄なのも結構ありますので、そういう事情があるということで、名前を出していくと、それを知らない一般市民に誤解を招くんじゃないかということで、名前は外します。ただ、皆さん方が名前を知りた

いというのであれば、ここにあります。事情を知っている人にはきちんとこれをお見せしていいと思います。全員がアンケートに動員された方の名前を書いているわけではないんだということだけ分かっていただければいいと思います。

高松秀樹委員 今回だけに限って考えると、そういうことも言えると思うんですよ。今回開催された場所の問題で、なかなか声を掛けられず、連れて来られなかったというのがあって、人が少なかったというのもあります。3人連れて来てほしいというのが3回あったわけですよ。まず、第一段階として3回とも、そういう形で公表してほしいです。それを見て、ばらつきがあったらいいと思うんですよ。今回ゼロ人だけど、前回6人いました。その前は3人いましたという形があったらいいと思うんですよ。そうではない場合があった場合には議会として非常に大きな問題になると思いますし、大きな問題にせざるを得ない事項だと思いますので、3回ともそのような形で、まず公表してほしい。それを見て、名前を公表かどうかは意見したいと思います。

藤岡修美委員 公表について、議員にそこまでの覚悟があったかどうか不透明です。特に広報と広聴で温度差があるような気がするので、公表前提なら、それをあらかじめ全議員に言って、それからの話のほうがいいような気がします。

高松秀樹委員 議会報告会は議会基本条例に位置付けられた公式な報告会なんですよ。覚悟あるかないかなんて、議会基本条例を読まれた方なら、もちろん覚悟があるはずですよ。また、これは広聴委員会で機関決定したことですよ。それを委員長が全員協議会等で全議員に対し告知したはずですよ。その時点で3人以上は連れて行かなければいけないというふうに議員なら当然思うべきものだと思っています。だから、当然思うべきものを、当然に思っていない方がいらっしゃるのかなということで、僕は公表してほしいといったことで、どこにも条例等の裏付けとかがないことであれば、今言われるとおりのことも考えられるんですが、そうではないということです。この議会報告会は山陽小野田市議会にとって非常に重要な要素になっていると思いますので、その覚悟がない議員がいることが僕は信じられないような気がします。

松尾数則委員 私も名前の公表には基本的に賛成なんですけど、A班の反省会の中でもいろいろ意見も出ました。人が増えたのはカフェを始めたおかげ

だという意見もありました。ただ、今回の流れから見ているとカフェのおかげだけではないような気がする。議員の紹介も減っていますからね。PR部会としましては、最初に人が増えたのは名前を公表したことが大きく効いていると思うんですよ。PR部会としてはもっと人を呼びたいと思っていますし、いつか委員長が言ったように、1回やったことは2回か3回続けようじゃないかと。最初にやって、後は続いていないわけです。もう少し、その辺のところは検討すべきじゃないかなという気がしますけど。

長谷川知司委員長 先ほど私が言ったように名前を伏せたものを、今回のものと過去3回のを配ります。(資料配布) これを見ていただくと、広聴委員が平均3.4に対して、広聴以外が平均2.2というのが、広聴と広聴以外の議員で数字の差があるなというのがありますね。

高松秀樹委員 これを見ると、Uさんゼロ人、ゼロゼロゼロ計ゼロ。Sさん、ゼロゼロ1計1。Pさん、ゼロゼロ1計1。広聴のJさん、ゼロゼロ2計2。ひどいもんですよね。全く広聴が決定したことを理解されていない議員がいらっしゃるということなんですけど、これはどういうふうな対応を取られるのか教えてください。

長谷川知司委員長 皆さんの努力の差がありますので、事情はお聞きしようと思います。動員について努力をされていないというのであれば、それはまずいと思いますので、決まったことはやっていただくようには話そうと思います。とにかく話を聞くというのは大事だと思いますね。

高松秀樹委員 本人の事情なんか関係ないですよ。決めたことじゃないですか。決めたことであっても事情があれば守る必要はないというふうに捉えられるんですけど、その辺はどうなんですか。

長谷川知司委員長 だから、やっているけど名前は伏せてという場合もあると思うんですよ。要するに書かれていない方々なんです。(発言する者あり) それは分かりません。まず、話を聞いていきます。

高松秀樹委員 議長。これを今見られてどうですか。山陽小野田市議会の議長として、多い方は22名とか19名とか14名とか連れて来られているんですよ。一生懸命やっている議員も結構いらっしゃる。その中で、今みたいにゼロ人、一人、一人と。3人連れてくるだけです。三百人連

れて来いという話をしているわけではないんですよ。これって、議長のほうからもしっかり注意をされるべきだと僕も思っているんですけど、いかがですか。

小野泰議長 これを見ますと、物すごくばらつきもありますし、努力した方、努力されない方もあると思います。私自身が今回何人だったか分かりますけど、今回きちんと声を掛けて、来られた人数を見ますと、出ているのとかかなりかい離があった気がします。書かれない方も結構いるようですが、やはり、それぞれが努力してもらわなくてはならないし、書く側も議員の名前を書かれないのが結構あるというふうに思います。ですが、お互いが努力していくということは確認しながらやっていかなくてはならない。これは答えにならないですけど、そういう努力をしないと、どんどんじり貧になるというふうに思いますので、お互いが更に努力をする工夫をしなくてはいけないのではないかと思います。

高松秀樹委員 議長の所感は分かりましたけど、この対応策として議長はどうされるんですか。議長なら決まったことなので、この議員に対して議長がきちんと注意をすると、ちゃんとやってくださいよということがあってしかるべきだと思いますけど、そういうことはされないですか。

小野泰議長 その件については、名前を確認しながら行いたいと思います。

長谷川知司委員長 ほかにありますか。動員の数字を見て、動員の少ない人については私のほうから話を聞きます。その結果を議長には報告しますので、そういうことで。当然皆さんにも議長と話した後、報告させていただこうと思います。

中村博行委員 長年ずっとやってきましたが、リピーターが多いんですよ。だから、同じ議員が同じ人にいつも同じ人に声を掛けています。はっきり言えば広がりがないんですよ。議会カフェ、議会報告会について魅力がないということにほかならないと思うんですよ。誰が何人連れて来て名前を記入するとか、別のところに問題があると思うんですよ。市民にとって直接関わりのある問題については積極的な参加があると思うんですよ。例えば、以前議員定数をやりましたが、その際には会場ごとに人数が集まったということもあって、そういう技術的な問題もあるでしょうし、テーマもあるでしょうから、そういった根本的な、動員じゃなくて、参加者を増やすという方策を、先ほどからいろいろ出ています

よね、会場をいろいろ替えていくというような。あるいは市民の意見の中にも高校とか大学とか、そういったところでやられてはどうかというような話があったように、そこに目を向けていくべきではないかと考えます。

長谷川知司委員長 集計表に限らず、議会報告会そのものについて。先ほども意見を言われましたけれど、あえて言いたいということがあれば。

藤岡修美委員 私たち新人議員が前中村市議会事務局長に研修を受けたときに、私たちが議員になる前に議員研修を本市の議会アドバイザーである江藤教授や早稲田大学マニユフェスト研究所の中村先生の研修を皆さん受けられたと思うんですけど、その中で議会改革は第二ステージに入っていると。広聴は聞くだけではなくて、市民との間で議論したことを政策提言、政策に上げる議会にならなくてはという研修を受けられたと思うんですけど、その辺を踏まえての議会報告会をちょっと考えたらどうかなと思うんですけど。今回の議会報告会で盛り上がったのが、商工会議所の建て替えですね。これからという話のときには、皆さんわっと乗ってこられて、どっちかというと終わってしまって、もうどうしようもないことを聞いてもという意見が多い中で、これからの話には皆さん乗ってこられた記憶があるので、そういった議会報告会、報告会になるかどうか分からないですけど、その辺を考えていったらどうかなという気になります。

長谷川知司委員長 広聴委員会と言いながら、実際、議会報告会は広報なんですね。市民の意見を聞いて、政策提言にまで持っていける方向にするというのが広聴の役割ではないかなと思うんですが、そこに至っていないですね。もっと意見を聞くというのを大事にしたいと思えますし、出られている方は、先ほどのアンケート集計でありましたように30名ぐらいの方が3回以上議会カフェに来られているということは、ある程度固定化されている面もあるわけなんですね。皆さんが言われるように3名を動員してやろうということでも来られたとしても、この人たちが継続して来られているかどうかは怪しいということと、その方が面白いから友達を誘っていこうよということも見られないなと感じています。議会報告会をもう一回どうしたらいいかというのを考える必要があるというのは私も感じています。どうするかというのは私には分かりませんが。

高松秀樹委員 委員長の言われるとおりだと思ひ、藤岡委員の言われるとお

りの部分があると僕も思っています。しかし、議会報告会はいくまでも説明責任を果たすための報告をすると位置づけられていますので、政策を市民と論じるというのは市民懇談会やいろんなツールがあると思っています。しかしながら、そういったことを今後市議会がやっていかなければならないというのも事実です。そういう手法については広聴委員会の中でしっかり議論をしてしかるべきだと思っていますし、一番大事なのはリピーターがないという話でしたけど、リピーターがないのは何でだろうかとよく協議すべきですよ。来たくないからリポートしないんですよ。なぜ来たくないんですかという簡単な話のところなんですよ。そこを皆が意見出し合って、どうしていこうかと。僕は必ずしも6回ある必要もないとも思っています。今以上の実質的効果を得るにはどういうやり方が一番適当なのかということを議論していかない限り、3人縛りを掛けても、どんどん尻すぼみになっていく。同じ人しか来ないということなので、そこは正副委員長のほうでしっかり意見交換、議論ができる場を作っていただいて、新たな議会報告会の模索をされたらどうかと思っています。

藤岡修美委員 議会改革自体が北海道の芽室町で始まって、芽室町と飯田市議会が年1回の議会報告会で、それを政策提言に上げるように、通年議会をやっているところもあるんですけど、そういう形をこれから勉強して行って、新しい方向を求めていったらいいなという気です。

杉本保喜委員 10月から新たな2年になるんですけど、その辺りを見て、広聴の中で、次回からどういう改善が必要かということ話し合う必要があると思いますね。4回で6か所を毎回やるという、場所によっても問題があるだろうし、私が視察に行ったところ、大分市議会なんかは年に1回議会報告会という形をとっているんですね。それだけではなくて、それぞれの委員会で関連の企業や農業の団体なんかと意見交換会を持っているというやり方をしているわけですよ。それを参考にして、広聴というものがこれからどういう形で進むかということ皆で再度練る必要がある。そういう機会を持っていただきたいと思いますね。

中岡英二委員 回数は今から検討していかないといけないと思いますが、果たしてその1回で何人来られたのか。2回で何人来られたのか。その辺も大事な数字と思うんですよ。ただ1回している、2回しているじゃないと思うんですよ。やはり何人来られたかも大事だと思いますよ。なぜ人数を言うかということ、やはり議会のことをもっと理解していただきたい

というのが一番だと思うんですね。それで人数が減っているというのは議員の呼び掛けが少なかったからかもしれないですね。良い例もあると思うんですよ。だから、数字も一緒に報告していただきたいです。先ほどから議会報告会の参加は何回目ですかということで、3回以上が30名ですよ。初めて来た人も10名います。2回目の人も二十何名います。これはいい数字だと思いますよ。これが段々広がって行って、初めてきた人が2回目になる。決して同じ人で固定しているわけではないと思います。3回以上の人は確かに来て意見も出されるし、1回目、2回目の人もまた参加したいとか、良かったとか、そういう意見も出ています。アンケートの中のそういう数字も大事にして行って、継続することは継続しながら、考え直すところは考え直して改善して行って、まだ3回しかこういう数字は出ていないじゃないですか。もう少し様子を見て、良いところはしっかりやっていき、改めるところは改めていく時期ではないかなと思います。

長谷川知司委員長 アンケートは結構前から取っているんですね。何回目ですかというのは、相当前から3回以上という方がほとんど多いです。動員を掛けだして3回目、動員を義務化して3回目ということで、その前からいつも来られる方はいつも来られていました。そういう方は多いです。だけど、初回、2回の人のリピーターとして来るということは大事ですね。先ほど会場も考えたかどうかと言われていましたね。公民館だけじゃなくてというのは、例えばどういう会場を考えられていますか。

中岡英二委員 子育ての人が関心を持つ場所、スマイルキッズでも育友会の中で会合があるのなら、議会報告会をやりたいから父兄の方にも案内を出すとか、そういう場所ですね。老人だったら、老人が集まるときがあると思うんです。いろいろ皆さんでそれは考えて行って、こちらから出向いてやるというのも一つの方法と思うんですよ。公民館というのは年配の方が行きやすいところですよ。日ごろから行っている場所だし。それ以外の場所で、皆さんの考えを聞いて考えてもいいんじゃないかな。全部が全部じゃないですよ。何会場の中の一つ、その結果を見て、やっていったらどうかなと思っています。

長谷川知司委員長 それは出前的な形での出掛けていくということですね。老人と言われましたが老人クラブの中に若手委員会というのがあるんです。これは20名ぐらいメンバーがいますので、そういうところに行くというのも一つの方法であるし、高校に行くというのも、たしか光が高校に

行っていると思うんですね。これは時期的には11月でないとも高校は対応が難しいということで。それから、先ほど言われたスマイルキッズ。これも大事なことだと思います。子育て中のお母さん方の意見を聞いて政策提言に生かせるというのが一番良いと思うんですけどね。今までのような議会カフェ形式も大事ですけど、出前で行くということも考えるというのはいいかなと思います。

中村博行委員 A班の最後に広聴委員会で検討してもらいたいということがありました。今回A班の特徴として、担当の議員以外が参加された。それで答弁までされたという例がありましたので、この辺はしっかりと、担当以外の議員は参加しても黙って、傍らでということを確認してほしいということがありました。もう一点は議員名の記入についてはいろいろあるということです。それから、同じように2班制を3班制に戻してはどうかという意見、前回も出たんですけど、今回も同じように発言されています。

長谷川知司委員長 2班制を3班制に戻すということは皆さんどうでしょうか。でも、3名動員で100名を超えれば7名では大変ですね。

伊場勇委員 2班制を3班制にするのがどうなのかというところなんですけど、メリット、デメリットがあると思うんですよ。今すぐ決められることではないのかなと思います。

長谷川知司委員長 では、今のとおりで。

伊場勇委員 いや、今のとおりではなくて、議論しなくてはいけない。PR部会と企画部会で案を出さなければいけないんじゃないですかね。そこで、メリット、デメリットを出し合って、それを皆で話し合ったほうが、何も無いゼロのままで話し合うより、そっちのほうが良いと思います。

長谷川知司委員長 再度、PR部会と企画部会で別れて話をするということでもいいですかね。ただ、どういう項目をPRは主にして、どういう形を企画がするというのを確認しておきたいんですが。先ほど吉永委員が言われた五つの提案ですね。これを確認しましょう。一人3名動員というのは企画のほうで再度やってもらいたいということと、3班を2班というのも企画ですね。調査したことをホームページに載せるということも企画。アンケートに議員名、市民名が必要かどうかも企画ですね。会場に

ついてどうするか。いわゆる出前講座的な形についても企画。

伊場勇委員 ホームページに掲載するかどうかについてはPRでもいいんじゃないですか。それがPRにもなるし、PRの仕方にもホームページを使ったり、SNSを使ったり、議会のフェイスブックとかありますし、フェイスブックがあればいいのかとか、ツイッターとか媒体はいろいろあるじゃないですか。そういったところの協議をしてもらえばいいかな。そこで効果がどのくらい期待できるのかというところの調査も含めてやっていただけたらありがたいと思います。

長谷川知司委員長 今言われたことを含めて、PRのほうで何か議会カフェについて様々な提案をされていてと思うんですね。企画的なことも言われていいと思います。それを持ち寄って話せばいいんですから。

高松秀樹委員 PRですけど、ずっとやっていてマンネリだなという気がしているんです。チラシにしても何にしても。一回全部見直して、結果は同じでもいいんですけど、例えば、チラシの内容だとかPRの方法、ほかに良い方法はないのかをやられたほうがいいのかなどという気がします。何かべたになってきましたよね、チラシそのものが。この辺でイメージチェンジを図ってもいいんじゃないかなというふうには思います。PRの人頑張ってください。

長谷川知司委員長 ほかにありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）議会カフェについては9月4日に次回委員会を行いますけど、それまでに、PR部会、企画部会で部会を開いて、9月4日に報告ができればと思います。9月4日は確認していませんが、次回を9月4日に予定しています。本会議終了後ということで。そのときに部会報告もやっていただければと思います。議会報告会については終わります。次、市議会モニターの意見についてということです。令和元年5月10日付ということで議会モニターからの意見5が出ています。事前にお配りしていますので、皆様方は目を通されていると思いますが、議会モニターさんからの真摯な意見、確かに有り難いと思います。議会の考え方と対応ということで案を考えています。これを読みますね。「貴重な御意見を提出いただき、ありがとうございます。頂いた意見については全議員と共有し、障がい者用傍聴席や市議会傍聴規則など議会運営委員会で議論している事項については意見を参考にしてもらい、広聴の役割や自由討議の在り方、継続審査の在り方、請願と陳情の取扱いなどについては、今後、広聴特別委員会で

議論していきます」と書いていますが、このように回答したいと思いますが、どうでしょうか。

高松秀樹委員 気になったのが、大きい1の(2)のところに「私たちは回答をもらいたいのではありません」というところで、結局、「回答をもらいたいのではありません」と言いながら、議会の考えと対応は「議論していきます」という形になっているので、これは今から議論していくんですよね。

長谷川知司委員長 そうです。

高松秀樹委員 書き方を変えたほうがいいんじゃないですかね。「議論の結果をまたお知らせします」というような形にしておかないと、これで終わったような気がしますよね。今から議論をするのであれば、書き方を変えたほうがいいかもしれないですね。事務局、これはいつまでに回答しなくてはいけないというのがあったんですかね。

島津議会事務局主査 モニターさんにお約束しているのは今月末となります。

高松秀樹委員 これは結論が欲しいんですよね。今後議論していきますではなくて、結論がどうなのかというのが欲しいので、ちょっと延びてでも、しっかり広聴委員会の中で議論をした結論を書いたほうがいいんじゃないかと思います。

島津議会事務局主査 原則、3か月周期でお返しするというのを最初の委嘱状の交付式のときに説明していますので、5月末で締め切ったものは8月末にお返しするというふうなサイクルになっています。

長谷川知司委員長 期限を切って、うちが延ばしますということは言えると思うんです。ただ、うやむやに延ばすということはまずいので、9月は決算議会がありますから、なかなか難しい。

中村博行委員 今月いっぱいという決まりがある以上、何らかの形というよりは、最後の部分で「広聴特別委員会で議論し、結論については後日」というふうなものを書き加えたらどうでしょうか。

長谷川知司委員長 「議論し、結果については報告します」ということで、こ

これは約束ですから、皆さんそういうことでいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）モニターの意見はこれということで。事務局、今月までに来たモニターさんの意見はあるんですか。

島津議会事務局主査 今のところは出ていません。

長谷川知司委員長 8月末までですね。ほかに何かありますか。

高松秀樹委員 前にモニターさんとの意見交換会をやったじゃないですか。いろんな意見が出て、最後に委員長が皆さんの出された意見についてはうんぬんという話があって、あれはメールでも来ていましたよね。あれをこの委員会の中でやらないといけないという話になるんですよね。

長谷川知司委員長 そうです。

高松秀樹委員 分かりました。

長谷川知司委員長 それを9月4日に話そうかなと思っていたんですが。事務局から何かありますか。（「ありません」と呼ぶ者あり）ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）これで広聴特別委員会を終わります。

午後3時30分 散会

令和元年8月19日

広聴特別委員会委員長 長谷川知司